

事 務 連 絡
令和 7 年 8 月 8 日

加盟団体 アルペン関係者 各位

公益財団法人 全日本スキー連盟
アルペン委員会委員長 押 切 敬 司
(公印省略)

FIS 公認アルペン競技におけるエアバックプロテクター及び耐切創性アンダーウェアの着用義務について（お知らせ）

日頃よりスノースポーツの普及振興にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、2024/2025 シーズンのアルペン競技用具における FIS ルール変更に伴い、2025/2026 シーズンからは FIS 公認アルペン競技のレースレベル 0 およびレースレベル 1 におけるすべてのスピード系種目では、エアバッグシステムを備えたプロテクターの着用が必須となります。ただし、レースレベル 1 のうちノースアメリカカップ、ファーイーストカップ、ジュニア世界選手権は除きますが、これらのレースでもエアバッグの使用が強く推奨されています。

また、同じく 2025/2026 シーズンからは FIS 公認アルペン競技のレースレベル 0 およびレースレベル 1 のすべての種目で耐切創性アンダーウェアの着用が必須となります。なお、その他のレースレベルについては耐切創性アンダーウェアの着用が強く推奨されています。

これらの変更は、FIS 理事会での慎重な検討を経て、選手の安全を最優先に考慮し、決定されたものです。これらのルールが遵守されない場合、選手はスタートが認められない場合があります。

貴団体関係者へご周知いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

参考：（１）FIS アルペン競技用具の仕様

https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/83fc041ff0/specifications_for_alpine_competition_equipment_21-06-2025.pdf

（２）FIS 理事会議事録概要 2025 年 6 月 12 日～13 日

https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/1ac1db90b1/2025_06_12-13_fiscouncilsummaryminutes.pdf

※それぞれ FIS ホームページ掲載資料へ遷移します

●エアバックプロテクター

FIS アルペン競技用具の仕様より抜粋

- ・ 3. 5. 2. 4 アルペン競技におけるエアバッグプロテクターの使用は、次のように決定されます。
 - ・ 2024/25 シーズンから、レースレベル 0 のスピード種目ではエアバッグシステムが必須です。
 - ・ 2024/25 シーズンのレースレベル 1 のスピード種目では、エアバッグシステムが強く推奨されます。
 - ・ 2025/26 シーズンのレースレベル 0 および 1 のスピード種目で必須となります。

FIS 理事会議事録概要 2025 年 6 月 12 日～13 日より抜粋 (P14)

2025/26 シーズン (2025 年 10 月 15 日開始) から、レースレベル 0 および 1 (ノースアメリカカップ、ファーイーストカップ、ジュニア世界選手権を除く。これらの大会では強く推奨される) において、エアバッグの使用を義務付けるという条項 3. 5. 2. 4 を再確認しました。

●耐切創性アンダーウェアの導入

FIS アルペン競技用具の仕様より抜粋

- ・ 3. 5. 3. 4 あらゆるレベルのすべての競技種目で耐切創性下着の使用を強く推奨します。2025/2026 シーズン以降、カテゴリーレースレベル 0 および 1 のすべての競技種目で耐切創性アンダーウェアの使用が義務付けられます。この義務付けでは、腸骨稜からスキーブーツの始まりまでのすべての部分で、FIS-DITF テスト標準に従って最低 3 つ星の保護レベルが求められます。

※レースレベル 0 :

オリンピック (OWG)、世界選手権 (WSC)、ワールドカップ (WC)、ワールドカップスピードイベント (COM)、ワールドカップクオリフィケーション (WQUA)

※レースレベル 1 :

オーストラリアニュージーランドカップ (ANC)、ヨーロッパカップ (EC)、ヨーロッパカップスピードイベント (ECOM)、ファーイーストカップ (FEC)、ノースアメリカカップ (NAC)、サウスアメリカカップ (SAC)、ユニバーシアード (UVS)、ジュニア世界選手権 (WJC)、ヨーロッパカップクオリフィケーション (EQUA)

【問い合わせ】

(公財) 全日本スキー連盟

アルペン委員会 ルール公認小委員会

小委員長 前原 力

E-mail : tmaehara2152@yahoo. co. jp